

## 平成28年度市民等からの提案によるごみ減量モデル事業 採択団体

### ■先進的モデル事業助成(家庭ごみ減量モデル)(1件)

団体名	おむつなし育児研究所京都サロン	代表者	代表 西山 由紀
事業名	赤ちゃんからはじめるエコな子育て！「0歳からのおまる」できずなを深めよう		
<p>0歳からおまるを取り入れることで、母子の絆が深まり赤ちゃんの情緒も安定するだけでなく、おむつごみの大幅な減量が可能となる。0歳からのおまるを普及させるためには、イベント(7月10日予定)等での啓発に加え、妊婦教室等において、授乳同様に伝承される必要があると考える。この事業では、環境面からその足掛かりを作るために、おむつごみがどのくらい減量できるか、アプリを活用して調査と集計を行う。また、ごみ減量に取り組む家庭へのフォローアップを実施したい。</p>			
<b>[交付予定金額 627,282 円]</b>			

### ■地域活動事業助成(9件)

(五十音順)

団体名	「体操服いつてらっしゃい、おかえりなさい」プロジェクト	代表者	創始者 岡部 達平
事業名	ひろがれ！ねざせ！「みんなで一緒に、体操服のリユース・リサイクル」		
<p>説明冊子での啓発が功を奏し、市内参加校は97小学校、9中学校となり、卒業式シーズンには本格的な回収が指導している。しかし、子どもたちがしっかり理解をして、主体的に体操服のリユース、そしてリサイクルに取り組むことを実現し、継続することは、毎年の地道で重点的な啓発活動にかかっている。また、中学校の参加率はまだ低調であり、積極的に中学校と打ち合わせを行い、取組へと進めていきたい。そのため、広報資料の増刷や新たな広報資料作りを行い、事業を深化させる。</p>			
<b>[交付予定金額 390,000 円]</b>			

団体名	北区地域ごみ減量推進会議	代表者	代表 山本 玉幸
事業名	北区ECO祭り		
<p>ごみ減量は一人ひとりの意識改革が大切である。これまでで開催してきた「北区 ECO 祭り」を地域のメンバーの自発的な取り組みとして実施する(10月30日予定)。各地域で行っている環境への取組のプレゼン・展示や、生ごみ処理機の展示、生ごみを乾燥させるプロセスの展示やさまざまな環境に関するクイズやアンケート、フリーマーケットなどを行い、意識を高めていく。</p>			
<b>[交付予定金額 313,500 円]</b>			

団体名	中京区地域ごみ減量推進会議	代表者	代表 川崎 元彦
事業名	エコで子育て支援！こども用品「おさがり」ネットワークの構築と既存事業の拡充		
<p>これまで竹筒学区として実施してきたこども服の交換会を、中京区全23学区の地域ごみ減量推進会議の設立を契機に中京区全体の取組としてリニューアル。地域全体で積極的に「おさがり」ネットワークに参加できる環境を創出したい。イベントの会場では、ワークショップやおもちゃの修理ブースも展開し、「リユース」だけでなく、「リペア」や「もっぺん」などの言葉や体験も身近に感じられるイベントにする。(5月5日実施)</p>			
<b>[交付予定金額 375,570 円]</b>			

団体名	京都市ごみ減量めぐくん推進友の会	代表者	会長 山内 寛
事業名	地域におけるごみ減量と2Rの促進の活動		
<p>「しまつのこころ条例」が施行され、ごみ半減へのさらなるごみ減量促進が求められている。京都市ごみ減量推進員経験者の会として、地域に積極的に関わり、啓発活動を行ってきた実績を基に、シンポジウムの開催(7月30日予定)や3R 実践ガイドブックの作成などを行い、ごみ減量の普及啓発活動を進める。</p>			
<b>[交付予定金額 191,340 円]</b>			

団体名	Ladies' Eco Circle プラムロード	代表者	代表 西井 博子
事業名	Eco おばちゃん Project2016		
<p>子どもたちによりよい地球環境を継続するため、次世代との連携を大切に「持続可能なコミュニティー」を構築、将来の環境リーダーを育てる。夏祭り(8月6日)、エコバスツアー、勉強会や、畑を拠点とした農作物の循環を体験するエコショーレを実施(年間を通じてほぼ毎月)。子どもたちの自主性を育みながら、活動拠点を増やしていく。子どもたちとエコな取組のミニ広報も作成する。</p>			
<b>[交付予定金額 139,520 円]</b>			

団体名	めざせ！京都土産エコ包みプロジェクト	代表者	世話人 森田 知都子
事業名	京都観光土産エコ包みコンテスト		
<p>近年、過剰包装は少なくなったものの、省資源や分別しやすさなどの課題を持つ土産物の包装について、日本・世界のモデルとなる包装を選ぶ「エコ包みコンテスト」を実施。観光客が急増する京都市で、エコ度を極めた京都らしい観光土産の形を創出するための事業を行う。</p>			
<b>[交付予定金額 423,132 円]</b>			

団体名	向島駅前まちづくり協議会	代表者	会長 福井 義定
事業名	高齢化社会のごみ処理問題への対応―「生ごみから作ったたい肥による野菜作り」		
<p>向島ニュータウンでも、日々、ごみ減量に取り組んでいるが、ごみ処理は依然として大きな社会問題である。なかでも生ごみは水分量が多く輸送・焼却に大きなコストがかかり、さらに減量に取り組む必要がある。また、地域には住民の高齢化と独居世帯の急増の問題がある。この二つの課題解決に、生ごみのたい肥化による「ごみ減量」と、野菜作りをとおした高齢者の「生きがいづくり」、「居場所づくり」を実践したい。</p>			
<b>[交付予定金額 97,585 円]</b>			

団体名	桃山エコ推進委員会	代表者	委員長 大倉 正暉
事業名	ごみ減量を次世代に伝えるエコ地域づくり		
<p>昨年度実施した環境の学習会とワークショップで築いた基盤を基に、さらなるごみ減量の意識の定着をはかるため、特に子どもたちへの環境教育(学習会やワークショップ、子どもたちが参加する地域行事への出展、出前事業など)を実施する。また、ロケットストーブの制作・実演・頒布そして生活利用の推進は、今年度も推し進める。アウトドア調理・非常時の防災利用から日常調理用へと力点を移し、ごみ減量・再生エネルギー利用を拡大する新たな仲間を交えながら、エコ活動の改善・発展をめざす。</p>			
<b>[交付予定金額 167,100 円]</b>			

団体名	NPO 法人コンシューマーズ京都	代表者	理事長 原 強
事業名	2Rで、老いる前の物の整理を		
<p>「老いる前の物の整理」を呼びかけ、普段の生活から不要なものを買わない、いらなくなったものを譲り合う「2R 市民」(2R 型の生活・行動ができる市民)を増やすとともに、いざという時には「遺品」の「分別整理・再資源化」を行うことができるように「遺品整理」にかかわる人・組織・情報・システムのネットワークの形成、「遺品整理」システムモデル開発をめざす。(情報交換型イベントの開催(9月21日予定)と、それをまとめたパンフレットの作成を行う)</p>			
<b>[交付予定金額 270,000 円]</b>			